

精神・発達障害など メンタル課題での

働きづらさを抱える方の 雇用マネジメント

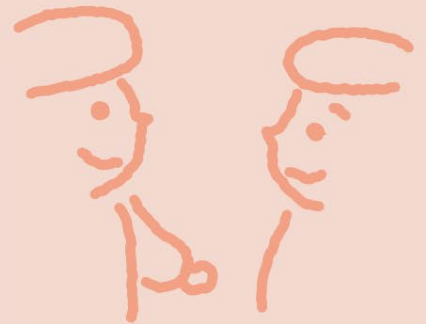
第1回

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

好事例から学ぶワークショップ in 京都

NPO法人全国精神保健職親会(vfoster)と京都障害者雇用企業サポートセンター(サポセン)の連携でワークショップを開催します。

具体的には、サポセンが実施している「業種・企業規模を問わず勉強・交流する会」において2回シリーズで実施します。



2021年

8月24日 火

会場: 京都テルサ 大会議室

+

オンライン

参加方法・お申し込みは
裏面をご覧ください

参加費: 無料

京都テルサへのアクセス

京都市南区東九条下殿田町70番地 (新町通九条下ル)

有料駐車場が地下に180台あります。

- JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

program

- 14:00 開会挨拶
- 14:20 行政報告
- 14:30 事例発表
株式会社島津製作所
人事部マネージャー 境 浩史 様
- 15:25 問題提起
アステックむろまち
所長 大石 裕一郎 様
- 15:45 グループディスカッション
- 16:45 まとめ・閉会挨拶

第1回目は、精神・発達障害のある方のマネジメント課題として企業でありがちなケースなどの事例を発表いただき意見交換します。また、就労支援段階において重要となる体験実習の現状と課題を発表いただき、職親^(※)マインドを考えてみたいと思います。

※「職親(しょくおや)」とは、精神障害者社会適応訓練事業に協力して当事者を職場に受け入れて、社会参加や職業訓練の場を提供してきた中小企業家のことです。こうした企業家のことを「里親」の言葉になぞらえて職場の親＝「職親」と呼び、全国精神保健職親会はこの「職親」の集まりを発祥とする団体です。

●「好事例から学ぶ ワークショップ」はこんな方におすすめです

これから精神・発達障害者を雇用したいが、どのようなポイントがあるか分からない



精神・発達障害者を雇用したが、当事者への対応に悩みや困り感がある



他社での取り組み事例を参考にしたい



医療や福祉の専門家の視点を学びたい



●ワークショップで目指したいこと

障害者雇用で悩みや疑問を持つ参加者に先輩企業や支援機関の経験を伝えて共有し、意見交換することで参加者が課題解決に向けて行動し始めること

参加お申し込み

会場参加

会場: 京都テルサ 大会議室
定員: 50名

web参加

視聴 URL は参加申込者に別途通知します
定員: 50名

参加費

会場参加、web参加ともに無料

申し込み先

●京都障害者雇用企業サポートセンター 担当: 大前
電話: 075-682-8928 e-mail: support@kyoto-jobpark.jp

●NPO法人全国精神保健職親会 担当: 三原
電話: 06-6307-1616 e-mail: event@vfoster.org

上記のいずれかに、以下の3点を添えて申し込みください

1. 氏名、所属
2. 連絡先
3. 参加方法(会場またはweb)

締め切り

2021年8月17日(火)